

放課後等デイサービス評価結

児童デイサービス南風
 実施日2024年3月中旬
 公表日2024年4月29日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6		1	
	④ 事業所の支援の質は適正であるか	5	2		
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	4	1	2	
	⑥ 放課後等デイサービス計画に基づき、支援が実施されているか	3	2	2	
	⑦ 放課後等デイサービス計画に記載された目標が達成されているか	3	2	2	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1	1	
	⑨ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	1
保護者 への 説明等	⑩ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1		
	⑪ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7			
	⑫ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	3		
	⑬ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	4	1
	⑭ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	⑮ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			
	⑯ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3	1	
	⑰ 個人情報に十分注意しているか	6	1		
非常時 等の 対応	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	4	1	
	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	2	1
満足 度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	7			
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	7			

・配布12枚・・・回収 7 未回答 5

・コロナの影響も徐々に緩和されてきたが、受け入れ対象児童の関係から変わらず感染症には気を遣う状態であり、完全に活動も戻せる状態ではなかったが、総合的に利用児童の満足度・事業所としての支援に対しては前回に続き評価は高いが、活動内容の変化やもう一步踏み入った具体的な支援内容が今回も保護者に伝えられていない部分がある。

・6月に茨城の鉾田、2月に参加条件は設けたものの浦安市の宿泊施設にて宿泊行事を二回行い、2月に事業所内で食事イベントを一度行った。ただ冬場はコロナが落ち着いてきた反面インフルエンザも爆発的に増加し、利用者も職員も罹患し、本来のイベントの目的や予定していた内容を実施出来なかった。最小催行人数設定等も考え、職員にも無理が無くイベント等が行える様工夫していく必要がある。もう少し行事の内容と頻度も充実させていきたい。社会情勢も常に確認しながら可能な範囲でもう少し外での活動を増やして行けると良い。

・保護者との個々の対面談等も時間が取れていない状態であり、日々の送迎時のやりとりや電話連絡にて情報交換をしている。各自宅に伺ったり、事業所に呼ぶということもまだしづらい状態であり、次年度は様子を見つつ、基本ベースを電話面談等に設定していく等、気を使うことなく面談が実施していけるようにする。

・例年に続き各種マニュアル等もすぐに関覧できる箇所に用意しており、初回の契約時の書類にも掲載しているが、再度各種閲覧希望があれば保護者に提示をする。HPIにて自己評価結果を掲載していることの周知があまり出来ていないので、PRしていく。

・保護者会や、障害を持たない児童との交流の場が作れないことも課題であり、まずは利用児童のきょうだい児やその友達等をイベントに参加出来るようにし、交流をはかれるようにしていく方法なども考えていく。

・当デイの特徴として児童の障害の特性の差が大きい事と学年の幅も大きく下校時間もまばらであるため、同一制作や活動は難しく、休日時に肢体不自由児と知的障害児で共通で出来る活動や制作を試案していくようにする。高い評価を得たものは維持できるようにし、再度普段見えない部分を開示していくようにする。